

TEAMで取り組み、TEAMで伸びる授業研究

～「一人の学び」から「みんなの学び」へ～



鳴門市林崎小学校

<徳島型メンター制度Ⅱを導入して>

- OTEAMで授業を「つくる」
- OTEAMで授業を「みる」
- OTEAMで授業を「考える」
- 自分事としての取組、学校全体の学びへ

主体的



<これまでの授業研究会の課題>

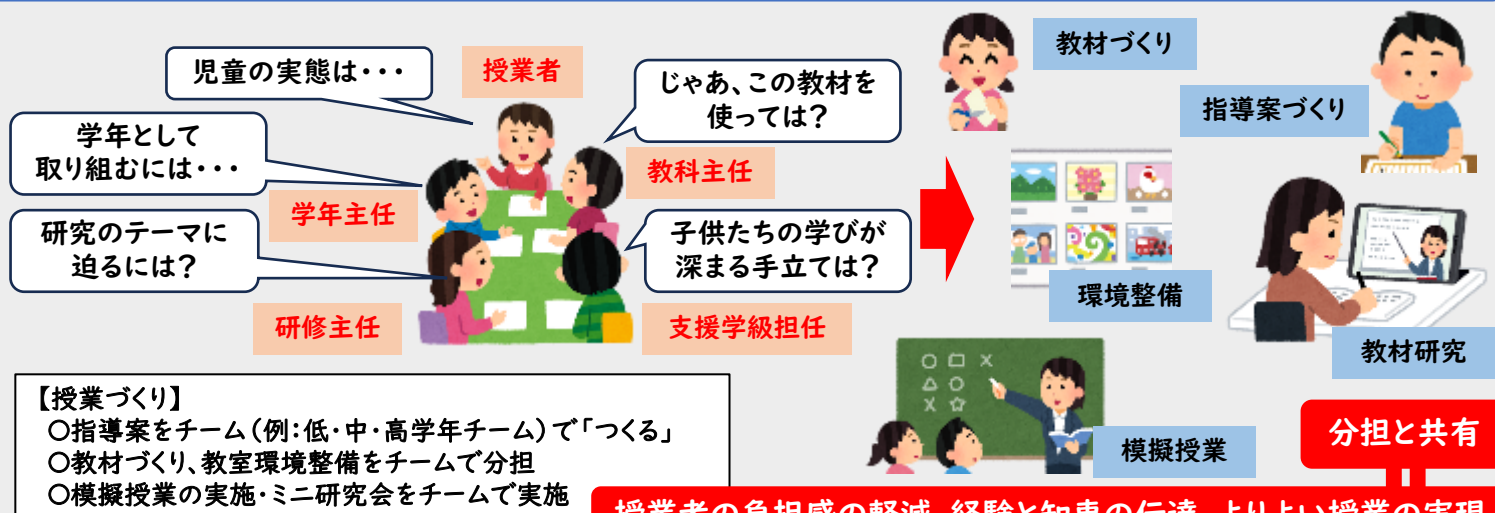
- 授業者のみの学びに留まってしまうが
- 参会者にとって、自分事としての捉えが弱くなりがち
- せっかくの機会が学校全体の成長に結び付きにくい

負担感



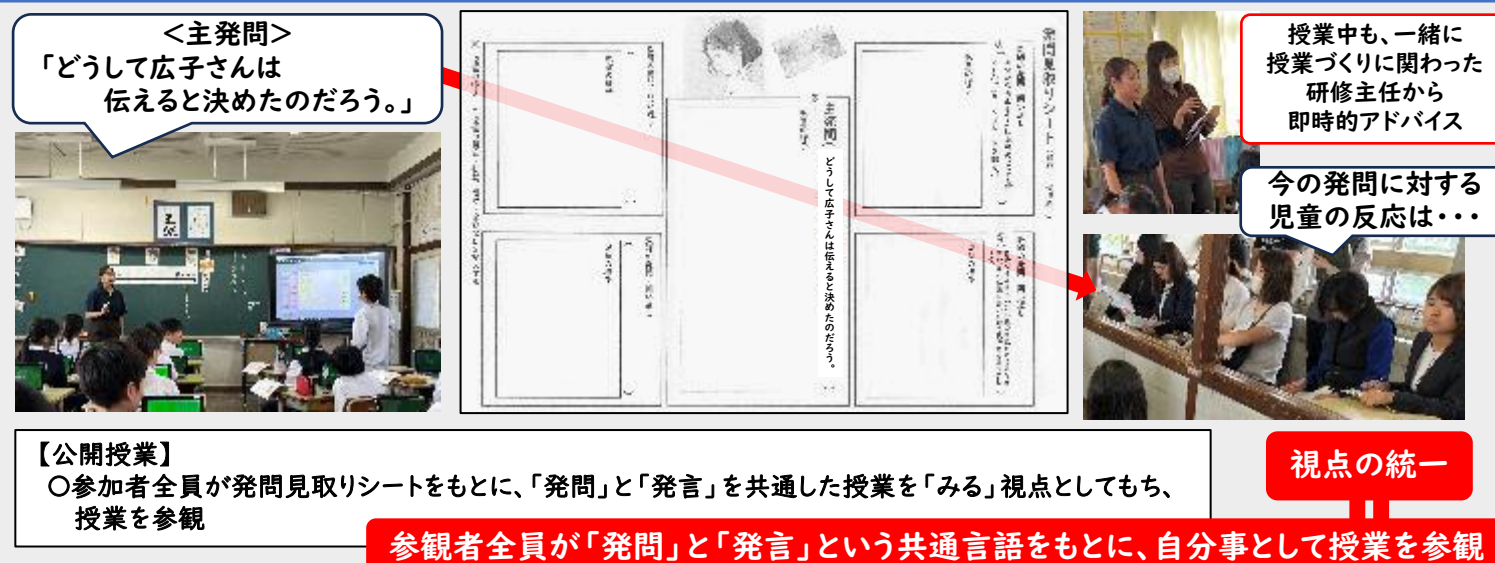
①TEAMで授業を「つくる」

授業づくり



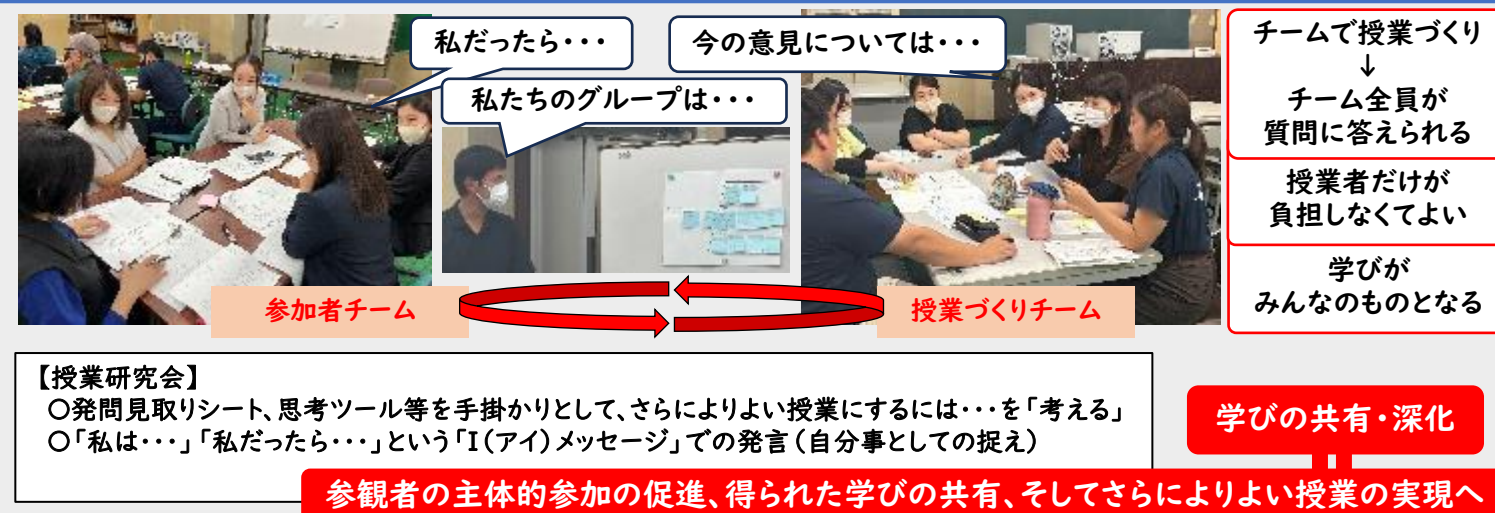
②TEAMで授業を「みる」

公開授業



③TEAMで授業を「考える」

授業研究会



成果と今後の展望

- OTEAMで取り組むことにより、
- ・授業者の負担感が軽減される
- ・学びが共有され、学校全体に広がる



- OTEAMで取り組む形を...
- ・他の教科・領域等に適応 (汎用性)
- ・学校の実態等に応じ、カスタマイズ (発展可能性)

持続可能な学校
TEAM Hayasaki
の実現へ